

学会だより

◇常任幹事会議事録

日時：2015年7月18日（土）14時00分～17時00分
場所：九州大学職員会館研修室（福岡市東区箱崎 3-32-20）

出席者：吉村淳，堤伸浩，熊丸敏博，安井秀，最相大輔，岩田洋佳，宅見薫雄，高牟禮逸朗，北柴大泰，犬飼義明，寺石政義，甲斐浩臣，宍戸理恵子，加藤鎌司，石本政男，佐藤豊（計16名）

委任状：草場信，片山健二（計2名）

1. 報告事項

- ・法人化関連報告（吉村）：資料に基づき一般社団法人への移行経緯について説明があった。
- ・庶務関係 総務（安井）：資料に基づき，会員数の推移，学会誌発行部数，契約，第128回大会優秀発表賞の投票日について報告があった。
- ・科研費（宅見）：資料に基づき，科研費（BS，シンポジウム）の報告書作成，交付申請，確定交付額，実地検査（予定）について報告があった。
- ・ホームページ（宅見）：資料に基づき，HP更新履歴，メール配信数，HPアクセス数について報告があった。
- ・農学会・記者レク（岩田）：日本農学賞・読売農学賞推薦，日本農学進歩賞の推薦，第128回講演会の記者レクの日程についての説明があった。
- ・会計（宍戸）：英文校閲料の現状について 第127回大会事業費不足分の執行，大会運営準備金のシンポジウムに関わる業者への支払い・立て替えの中止およびシンポジウム科研費口座から直接振り込みへの変更，J-STAGE掲載費の契約見直し等について説明があった。
- ・編集英文誌（石本）：今年度の編集状況（IF推移の分析結果，2015年の投稿数，採択数），特集号の編集状況について説明があった。
- ・編集和文誌（高牟禮）：和文誌編集状況について説明があった。
- ・集会（佐藤）：第127回講演会（玉川大学大会）の参加者数，第128回講演会（新潟大学大会）の準備状況（プログラム編成会議開催，演題登録数），第129回以降の講演会開催予定について説明があった。
第127回講演会大会経費の赤字理由と次期開催校での対策について報告された。
- ・LMO/ABS関連（熊丸）：特に報告がなかった。
- ・地域活動（各地域幹事）：各地域幹事より，平成27年度の地域談話会等の活動報告があった。

関連報告

- ・シンポジウム委員会（村井）：シンポジウム委員長より，運営状況および今秋シンポジウム時の会員対象のアンケート（案）について説明があった。
- ・男女共同参画推進委員会（最相）：第127回講演会時に開催された委員会議事について報告があった。
- ・将来構想検討委員会：平成26年度地域談話会での優秀発表の表彰実績について報告があった。平成27年度も引き続き活動の協力依頼があった。

2. 審議事項

1) 一般社団法人日本育種学会について

吉村会長より，(1) 代議委員選挙，(2) 会長・副会長選挙，(3) 事業年度および事業報告について説明があった。これらの実施時期および方法について審議され，以下の通り承認された。

(1) 代議員選挙

従来の選出幹事の選挙に準ずる。

(2) 会長・副会長選挙

従来 of 会長，副会長選挙に準じ，新旧代議員による意向選挙を実施し定時代議員により決議する。但し，運営委員（＝会長指名幹事）の選挙権はなしとする。運営内規との整合性を付けるため，運営内規の変更を検討することとなった。

(3) 事業年度および事業報告

定款に従い事業報告を行う。

2) 幹事会の議題について（総務）

第128回講演会幹事会において以下の件について議事とすることが提案され，審議の結果承認された。

- (ア) 平成27年度日本育種学会賞の選考について
- (イ) 平成27年度日本育種学会奨励賞の選考について
- (ウ) 編集委員の推薦について
- (エ) 法人化関連について

3) BS 科研費について（科研費）

- ・法人化後はBS科研費が学会予算に組み込まれることから，従前の執行実績に基づく1，2号の発刊をカバーできなくなるため，当該分は1号発刊時にまとめて請求することが提案された。審議の結果承認された。
- ・項目が多様化（オンライン投稿システム管理費，英文校閲費，オンライン費，直接出版費，等々）することから，ネットバンキングによる支払い方法が提案され，審議の結果承認された。

4) 会計関連（会計）

以下の(1)～(3)について提案があり，審議の結果，提案内容が承認された。

- (1) 科研費口座の管理業務：事務取扱係（中西印刷）によるネットバンキングでの支払い

- (2) 旅費取扱規程の制定：制定することが承認された。会計幹事により規定案を作成することになった。
- (3) 大会会計の取扱：各幹事からの提案等を会計幹事が集約する。
- (4) 農学者技術者教育推進委員会 JABEE への出張費：継続審議となった。
- (5) 幹事会事務費について：法人設立後の各幹事事務費の運用方法について、各幹事に検討してもらうこととなった。

5) 編集英文誌関連

以下、2項目について提案があり、審議の結果原案通り承認された。

(1) 編集委員の推薦：岡山大学大学院環境生命科学研究科 田原誠氏

(2) 平成 28 年科研費の申請計画案について：国際情報発信の取り組みの実施計画・方法

6) 大会開催案内について (集会)

学会誌発送が遅れた場合の学会誌と大会案内とを分けることが提案された。審議の結果、別途大会案内を送付することが承認された。

7) 学会誌 (和文) の非学会員への販売

非学会員著者への販売の可否について、引き続き検討することとなった。

3. その他

◇ 地域談話会だより

〈中部地区〉

第 22 回育種学会中部地区談話会が、2014 年 11 月 22 日 (土) に岐阜大学連合農学研究科にて開催された。特別講演 2 題および 18 題の一般発表が行われ、中部地域 5 県の大学・研究機関から 64 名が参加し、活発な議論が交わされた。また一般講演については、参加者全員による投票で優秀ポスター賞を選定し、3 題 (4 名) に授与するなど、互いの成果をたたえ合いつつ盛況の内に幕を閉じた。

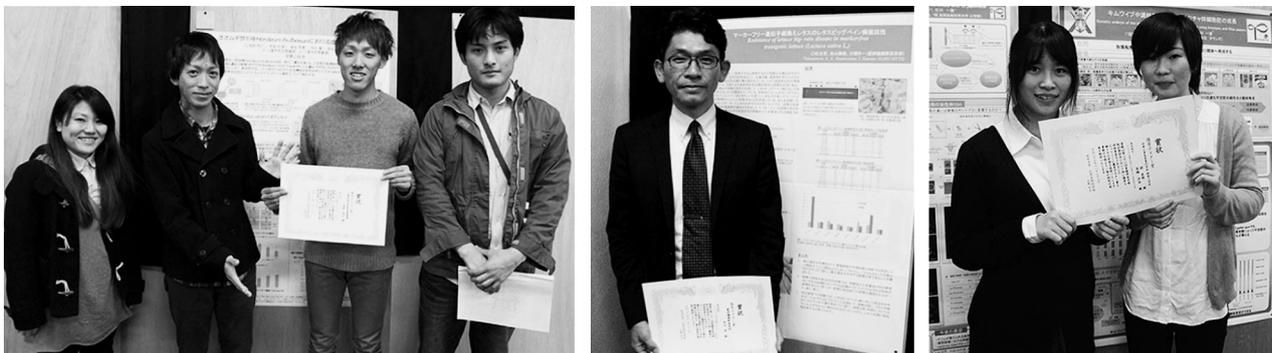
発表課題は以下の通りである。

特別講演 1：岐阜県における育種の成果と今後の展開。越川兼行 (岐阜県農業技術研究所)

特別講演 2：野菜用アマランサスの可能性と普及。大場伸哉 (岐阜大学応用生物科学部)

一般発表：①チャ (*Camellia sinensis*) およびツバキ (*C. japonica*) の染色体 FISH。○寺前香里¹・飯田誠也¹・中尾真之^{1,2}・渡邊聖人^{1,3}・高橋映莉乃^{1,4}・古川一実¹ (1. 沼津工業高等専門学校物質工学科, 2. 現：信州大学繊維学部, 3. 現：ジェイカムアグリ株式会社, 4. 現：長岡技術科学大学工学部), ②キムワイプや濾紙を利用した迅速なチャ体細胞胚の成長。○林若那・高橋沙英・古川一実 (沼津工業高等専門学校物質工学科), ③スイー

トソルガムはなぜ甘いのか? ~責任遺伝子の同定と仕組みの解明に向けた試み~。○倉見慶二郎¹・中村 (荒木) 聡子²・市川悦子¹・篠原 (大前) 梢²・伊藤裕介²・米丸淳一³・春日重光⁴・松岡信²・北野英己²・佐塚隆志² (1. 名大農学部, 2. 名大生物機能開発利用研究センター, 3. 農業生物資源研究所, 4. 信大農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター), ④イネの根の誘導的通气組織形成機構の解析。○深澤彩・山内卓樹・中園幹生 (名古屋大学大学院生命農学研究科), ⑤ QTL analysis for cold tolerance at the reproductive stage and evaluation of effective QTLs in backcross lines of rice (*Oryza sativa* L.): cross between NERICA parent variety, WAB-56-104 and cold tolerant variety, Hananomai。○Cornelius Mbathi Wainaina¹, Yoshiaki Inukai², Yasunori Nakajima³, Yuko Mizukami³, Mitsuru Nakamura⁴, Akihiro Ikeda⁴, Shuichi Asanuma², Hidemi Kitano⁵, Daigo Makihara² (1. Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya U., 2. Int. Coop. Ctr. for Agric. Ed (ICCAE), Nagoya U., 3. Aichi Agric. Res. Ctr., 4. Mtn. Agric. Res. Inst (MARI), Aichi Agric. Res. Ctr., 5. Biosci., Biotech. Ctr., Nagoya U.), ⑥熱帯低湿地適応イネ品種 Dadahup を用いた鉄過剰耐性に関する QTL 解析。○平川嵩久¹・高橋宏和¹・犬飼義明²・中園幹生¹ (1. 名古屋大学大学院生命農学研究科, 2. 名古屋大学農学国際教育協力研究センター), ⑦嫌気還元条件下の根で誘導される転写因子 *OsWRKY23* の発現解析。○佐藤彩織・渡邊宏太郎・西内俊策・中園幹生 (名古屋大学大学院生命農学研究科), ⑧普通ソバ (*Fagopyrum esculentum*) における高ルチン含量優良系統の育成。○岡田愛弓¹・丸山秀幸³・宮本恵理¹・高橋栄里¹・南峰夫²・吉田清志³・松島憲一²・根本和洋² (1. 信州大農, 2. 信州大院農, 3. 長野県野菜花き試), ⑨ソバ属種間雑種 (*Fagopyrum esculentum* × *F. cymosum*) 後代における稔性回復。○小池賢人・南峰夫・松島憲一・根本和洋 (信州大院農), ⑩イネ組換え自殖系統への Genotyping by sequencing (GBS) 法の利用。○朱新昊, 土井一行 (名大院生命農学), ⑪ケニア主要イネ品種 Basmati の耐冷性改善のための遺伝解析。○石原賢治¹・土井一行² (1. 名大農, 2. 名大院生命農学), ⑫アフリカイネを用いた一年生形質の評価。○尾崎雄哉¹・藤岡昌司¹・春原英彦¹・高師知紀²・北野英己³・土井一行¹ (1. 名大院生命農学, 2. 株式会社ステイグリーン, 3. 名大生物機能開発利用センター), ⑬イネの胚盤形成異常変異体の解析。○舟橋成仁・佐藤豊 (名古屋大学大学院生命農学研究科), ⑭マーカーフリー遺伝子組換えレタスのレタスビッグベイン病抵抗性。○松元哲・畠山勝徳・川頭洋一 (農研機構野菜茶研), ⑮嫌気条件下におけるダイズ品種タチナガハと伊豫大豆の主根の破生細胞間隙形成パターンの解析。○藤本周平¹・高橋宏和¹・望月俊宏²・高橋良二³・中園幹生¹ (1. 名大院農, 2. 九大院農, 3. 作物研), ⑯オオムギ野生種 *Hordeum bulbosum* における雌雄 S 因子の解析。○浅原亮介¹・平



第22回中部地区談話会にて優秀発表賞を受賞された皆さん（左から講演番号⑬, ⑭, ⑯）

松拓実²・米田年豊²・村上愛²・掛田克行¹ (1. 三重大院生物資源, 2. 三重大生物資源), ⑬イネの根における恒常的通气組織形成の分子機構の解析。○田中英大¹・山内卓樹²・稲橋宏樹²・犬飼義明³・中園幹生² (1. 名大農学部, 2. 名大院生命農学, 3. 名大農国センター), ⑭イネの分蘗節位と子実生産力に関する遺伝解析。○國島健¹・保浦徳昇²・中野利哉¹・武田泰実¹・石原亮太¹・藤城靖子¹・北野英己² (1. 名古屋大学院生命農学研究科, 2. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)

〈北海道地区〉

2014年12月6日(土)に酪農学園大学(江別市)において、日本育種学会・日本作物学会北海道談話会の年次講演会並びに総会を開催した。

◎平成26年度一般講演 演題(51演題)

稲作北限地における変動するフィールド環境下での *Efl* と *m-Efl* の開花期と fitness への効果の検証。○伊藤勇樹(酪農大) / FATES; 優良形質に関わる遺伝子を効率的に同定する方法。○藤野賢治¹・小柳香奈子²・佐藤毅³ (1. 北農研, 2. 北大院情報科学, 3. 上川農試) / 品種育成における遺伝変異の変遷。○小原真理・田村健一・藤野賢治(北農研) / イネのアミロース含量低下に関わる遺伝子の同定。○池ヶ谷智仁¹・小柳香奈子²・清水敏明²・品田博史³・西村努⁴・平山裕治⁴・木内均⁴・前川利彦⁴・佐藤毅⁴・藤野賢治¹ (1. 北農研, 2. 北大院情報科学, 3. 十勝農試, 4. 上川農試) / 気象変動と登熟日数を考慮した北海道水稲育成系統の収量性評価。○道満剛平¹・西村努¹・木下雅文²・佐藤博一²・尾崎洋人²・粕谷雅志³・其田達也³・平山裕治¹・佐藤毅¹ (1. 上川農試, 2. 中央農試, 3. 北見農試) / 様々な組み合わせによるイネ雑種のゲノムワイド発現解析。○胡娜¹・Baruah Akhil²・石黒聖也¹・佐藤裕³・貴島祐治¹ (1. 北大院農, 2. Anand Agr. Univ., 3. 北農研) / 北海道在来の水稲系統と複数のインディカ系統の交雑後代を用いた穂ばらみ期耐冷性の遺伝解析。○曾根裕子¹・石黒聖也¹・佐藤毅²・貴島祐治¹ (1. 北大院農, 2. 上川農試) / キンギョソウトランスポゾン Tam3 に対する転移抑制遺伝子 *Old Stabiliser* の特定と構造解析。○平

田愛・海老沼一出・藤野介延・貴島祐治(北大院農) / イネの β 1,2-キシロシルトランスフェラーゼ遺伝子は非生物的ストレス下での生育に関わる。○高野翔¹・船引厚志¹・古川潤一²・松田修一¹・篠原康郎²・高牟禮逸朗³・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 北大院先端生命, 3. 北大院農) / イネの ABC トランスポーター RCN1 の機能について。○松田修一¹・長澤秀高¹・吉川晶子¹・高牟禮逸朗²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 北大院農) / イネの ABC トランスポーター OsABCG13 の組織局在。○石川奏恵・松田修一・長澤秀高・吉川晶子・加藤清明(帯畜大) / イネの ABC トランスポーター OsABCG27 と OsABCG3 の組織局在。○長澤秀高・松田修一・吉川晶子・加藤清明(帯畜大) / イネ品種「ゆきひかり」と「上育462号」間の組換え自殖系統を用いた QTL マッピング。○木下乃梨子¹・高野翔¹・下田直美¹・小矢崎慧²・大西一光¹・高牟禮逸朗²・佐藤毅³・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 北大院農, 3. 上川農試) / 水稲の白未熟粒発生に及ぼす出穂時期の影響。○熊谷聡・藤倉潤治(上川農試) / 機器分析による水稲良食味育成系統の効率的選抜手法。○西村努¹・藤井はるか²・佐藤博一²・粕谷雅志³・前川利彦¹・平山裕治¹・柳原哲司²・佐藤毅¹ (1. 上川農試, 2. 中央農試, 3. 北見農試) / 北海道と兵庫県の酒造好適米における気象条件と醸造適性の関係。○田中一生¹・岩間和人² (1. 中央農試, 2. 北大院農) / 水稲新品種「空育180号」の特性とその多収要因。○木下雅文¹・其田達也²・佐藤博一¹・尾崎洋人¹ (1. 中央農試, 2. 北見農試) / 子実用トウモロコシに対する千鳥播栽培が収量に及ぼす影響—栽植密度が増収効果に及ぼす影響—。○菅原啓¹・義平大樹¹・佐藤智宏²・吉村暢彦¹・森稔明¹・小川健太¹ (1. 酪農学園大学, 2. パイオニアハイブレッッドジャパン) / 子実用トウモロコシに対する千鳥播栽培が収量に及ぼす影響—長沼町における実規模試験, および狭畦千鳥栽培—。○阿部賢斗¹・義平大樹¹・佐藤智宏²・柳原孝三³・照井英樹⁴ (1. 酪農大, 2. パイオニアハイブレッッドジャパン, 3. 柳原農場, 4. IDEC) / ヘアリーベッチ栽培後の初冬播き春コムギの越冬能力の評価。○平田聡之・星野洋一郎・紀井俊太郎・二木和幸・野口大輔(北大FSC) / 栽植密度を

用いた大気 CO₂ 上昇下で高い生産性を示すコムギ品種の選抜方法の検討—北海道の春播性コムギにおける品種間差異—。○外崎貴哉¹・竹林佳南¹・義平大樹¹・下野裕之² (1. 酪農大, 2. 岩手大農) / 肥効調節型窒素肥料と硫酸を配合した基肥施肥が春播コムギ栽培「春よ恋」の生育・収量に及ぼす影響—「LP コート 20」と「ハイパー CDU (短期)」の施用効果—。○星野黒翔一¹・栗原一博²・義平大樹¹ (1. 酪農大, 2. ジェイカムアグリ) / タンパク質含有率に関わる遺伝子 *Gpc-b1* を導入した秋まき小麦系統のタンパク質含有率と農業特性。○山下陽子¹・神野裕信²・大西志全²・粕谷雅志²・其田達也² (1. 中央農試, 2. 北見農試) / ホクシンの雪腐れ病抵抗性 QTL 解析。○鈴木孝子¹・井上哲也²・西村努²・浅山聡¹・吉村康弘³ (1. 中央農試, 2. 上川農試, 3. 北見農試) / バーコードを利用した小麦育種におけるルーチン作業の効率化。○大西志全¹・来嶋正朋¹・粕谷雅志¹・足利奈奈¹・其田達也¹・神野裕信 (北見農試) / CIMMYT における Selected bulk 法による春まきコムギ育種。○来嶋正朋 (北見農試) / SRC 検定を利用した硬質秋まきコムギの吸水性評価。○神野裕信¹・大西志全¹・粕谷雅志¹・佐藤三佳子²・吉村康弘¹ (1. 北見農試, 2. 中央農試) / スペルタコムギを用いた戻し交雑組換え自殖系統における農業形質の評価。○坂井祐希¹・和野敦志¹・徳井真由美¹・三浦秀穂¹・大西一光 (帯畜大) / コムギの 4B 染色体上に見出された種子長に関わる QTL。○和野敦志¹・曹良子¹・平一真¹・徳井真由美¹・大西一光¹・三浦秀穂 (帯畜大) / *in planta* 形質転換法による種皮色候補遺伝子 *Tamyb10* の白粒小麦への導入の試み。○栗原志保¹・今井亮三 (北農研) / テンサイ冠部の生育異常が収量に及ぼす影響。○高橋宙之¹・田口和憲¹・岡崎和之¹・黒田洋輔¹・上田重文 (北農研) / 日本のテンサイにおける抽苔遺伝子 *BvBTCL1* の変異。○黒田洋輔¹・岡崎和之¹・高橋宙之¹・田口和憲 (北農研) / テンサイ *Rfl* 領域の *Omal* 様遺伝子と CMS に関わるミトコンドリア遺伝子 *preSatp6* の分子的相互作用。○荒河匠¹・北崎一義¹・栗野里香¹・三上哲夫¹・久保友彦 (北大院農) / フダソウ「仏国大葉」においては Owen 型細胞質雄性不稔に対する雄性不稔維持遺伝子型と稔性回復遺伝子型が分離する。○浜田宏之¹・内山大輔¹・大神貴史¹・本間雄二郎¹・久保友彦 (北大院農) / バレイシヨの地上部生育と収量における有機栽培と慣行栽培の比較。○竹村紘¹・鈴木若菜²・市川伸次³・岩間和人¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大 FSC) / ポットで栽培したバレイシヨ品種の初期生育および根導管コンダクタンスに及ぼす土壌乾燥ストレスの影響。○谷川潤¹・萩原雄真¹・鈴木健太郎²・出口哲久³・市川伸次⁴・岩間和人¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 海道教育大, 4. 北大 FSC) / 根量の異なるバレイシヨ 2 品種の作土層における水分吸収。○萩原雄真¹・谷川潤¹・鈴木健太郎²・出口哲久³・市川伸次⁴・岩間和人¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北海道教育大, 4. 北大 FSC) / 2

倍体バレイシヨ C×E マップ集団における開花期での地上部形質と早期肥大性との関係。○西浦珠央¹・梅田周²・市川伸次³・岩間和人¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大 FSC) / バレイシヨ水耕栽培での養分と日長が移植苗の初期生育に及ぼす影響。○不破秀明¹・郷家一広¹・岩間和人² (1. 種苗管理センター後志分場, 2. 北大院農) / バレイシヨ塊茎の打撲症状軽減を目的とした水溶性カルシウム剤の施与が塊茎内カルシウム含量に及ぼす影響。○兼城友彰¹・岡田薫¹・不破秀明¹・郷家一広¹・岩間和人² (1. 種苗管理センター後志分場, 2. 北大院農) / バレイシヨ培養変異体のそうか病汚染圃場における抵抗性評価。○富田謙一¹・藤田涼平¹・中山輝 (北見農試) / バレイシヨにおける海外導入遺伝資源の特性評価。○藤田涼平¹・池谷聡 (北見農試) / 温暖化で分布が拡大する帰化雑草イガホビユの総合的防除。○石川枝津子¹・井上聡¹・白木一英 (北農研) / 高密度条件下における半無限および長花梗の特性を有した主茎型ダイズ系統の収量性。○高村健太¹・義平大樹¹・山口直矢² (1. 酪農大, 2. 十勝農試) / 耐倒伏性ダイズ品種「トヨハルカ」の押しし抵抗とその関連形質—トヨムスメとの比較—。○北畠拓也¹・鈴木暖佳¹・義平大樹¹・山口直矢² (1. 酪農大, 2. 十勝農試) / 摘芯によるダイズの分枝発達の変化—伸育性が異なる品種間における差異—。○鈴木暖佳¹・北畠拓也¹・義平大樹¹・白岩立彦² (1. 酪農大, 2. 京大院農) / ダイズの分枝可塑性における簡易評価の検討—異なる播種期で栽植密度に傾斜をつけた畦における分枝発達パターン—。○尾崎徳宏¹・鈴木暖佳¹・北畠拓也¹・義平大樹¹・白岩立彦² (1. 酪農大, 2. 京大院農) / ダイズにおける根系の変異と乾燥ストレス耐性との関連。○大内優一郎¹・吉清翼¹・柏木純一¹・アウチチャ ディサナヤカ²・許東河³・高橋良二²・阿部純¹ (1. 北大院農, 2. 筑波大, 3. 国際農林水産業研究センター) / ダイズの分枝に影響を及ぼす遺伝的要因と環境要因について。○林隆文¹・竹島亮馬¹・阿部純 (北大院農) / ダイズ種皮における CHS 遺伝子発現部位の組織学的解析。○平岡未帆¹・松澤めぐみ¹・川崎通夫¹・千田峰生 (弘前大農学生命科学) / アズキ品種「しゅまり」と開花着莢期高度耐冷性遺伝資源 Acc2265 間の交雑後代で分離する開花期の QTL 解析。○山本博規¹・堀内優貴²・小倉玲奈³・下田直美¹・佐藤仁²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試, 3. 中央農試)

日本育種学会会員異動(2015.4.21 ~ 2015.7.20)

◇ 普通会員入会：道満剛平 (北海道), 飯塚哲也, 賀屋秀隆, 藤郷誠, 藤井健一郎 (茨城), 白澤沙知子 (千葉), 安居佑季子 (東京), 田岡健一郎 (神奈川), 笹原英樹 (新潟), 森茂和 (岐阜), 加藤大和, 黒谷賢一, 塚越啓央 (愛知), 山田善彦 (滋賀), 西澤けいと (京都), 板橋悦子 (兵庫), 坂本悠 (長崎)

◇ **学生会員入会**: 岩瀨恵佑, 金岡義高, 朱江慧, 新保大樹, 周華, 徳光雄介, 中屋楓, 福本沙弥, 吉清翼 (北海道), 田村紀子 (青森), 大橋麗 (岩手), 川上珠恵, 高梨光法 (山形), 陳蕤坤 (茨城), 福原修斗 (千葉), 相賀彩織, 池田拓之, 岩城敦史, 上田真道, 片岡涼, 片野和馬, 熊崎彩菜, 坂本莉沙, 中野瑠果, 長恵理子, 長谷川泰彦 (東京), 田口和昌 (神奈川), 小玉太郎 (新潟), 北川哲 (福井), 阿部こころ, 出雲谷遥, 軸屋恵, 中村由衣, 伏見栄利奈, 前田貴文, 向井章人 (京都) 板倉広樹 (大阪) 大坪恭子, 久木康信, 宮崎裕貴 (兵庫) Thein Hnin Wah (福岡)

住所変更等

◇ **普通会員**: 佐藤尚 (北海道), 松田修一 (岩手), 奥崎文子, 寺本翔太, 矢部志央理 (東京), 大柳一 (神奈川), 中川仁 (静岡), 喜多村直人 (滋賀), 島谷善平 (兵庫), 西尾善太 (福岡), 大林憲吾 (長崎), 坂井真 (熊本), 伊敷弘俊, 古賀郁美 (沖縄)

逝去

三浦清之氏 (茨城)

慎んでご冥福をお祈りいたします。